

平成27年2月6日

各 位

会 社 名 日本シイエムケイ株式会社

代表者名 代表取締役社長 高井 建郎

(コード番号 6958 東証第1部)

問合せ先 経理部長 岡部 明広

(TEL. 03-5323-0238)

通期業績予想の修正、営業外収益(為替差益)及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 12 日に公表しました平成 27 年 3 月期(平成 26 年 4 月 1 日~平成 27 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、当社は下記のとおり営業外収益及び特別利益を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75, 000	1, 500	1,000	600	10. 21
今回修正予想(B)	73, 500	750	1,000	600	10. 21
増 減 額 (B-A)	△1,500	△750			
増減率(%)	△2.0	△50.0			
(ご参考)前期実績					
(平成26年3月期)	71, 031	△1, 109	△1,843	△4, 955	△84. 36

修正の理由

当社グループの市場別販売状況では、自動車関連製品において国内の消費税増税後の影響が長引いており、 デジタルカメラの受注も国内海外ともに回復が弱い状況から、売上高は当初予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、売上高減少等の影響により、営業利益は7億50百万円と当初予想を下回る見込みです。 経常利益ならびに当期純利益は、外国為替相場が円安基調であることから、営業外収益(為替差益)が発生することに加え、平成27年1月9日に発表いたしました、当社のマレーシア子会社株式の売却に伴う特別利益の計上が見込まれるため、当初予想を据え置いております。

2. 営業外収益(為替差益)について

平成27年3月期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日~平成26年9月30日)において為替差益2億80百万円を計上しておりましたが、為替相場の変動により、第3四半期連結会計期間(平成26年10月1日~平成26年12月31日)では2億59百万円の為替差益の発生となったため、第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日~平成26年12月31日)においては、為替差益5億40百万円を営業外収益に計上いたします。

なお、上記の金額は主に平成27年3月期第3四半期末時点での為替相場の影響によるものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

3. 特別利益について

(1) 子会社株式売却益

当社は、平成27年1月9日付「連結子会社の株式譲渡(子会社の異動)、債権放棄及び特別利益の計上見込みに関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、当社の連結子会社であるCMKS(MALAYSIA)SDN.BHD.の全株式を譲渡する株式譲渡契約を締結いたしました。この株式譲渡に伴い発生する子会社株式売却益の金額を未定としておりましたが、このたび見込額が判明しました。これにより特別利益に子会社株式売却益として計上する見込みです。

<連結>

子会社株式売却益として特別利益に約4億20百万円計上する見込みです。

<個別>

子会社株式売却益として特別利益に約5億42百万円計上する見込みです。

(2) 抱合せ株式消滅差益

当社は、平成26年8月8日付「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、平成26年10月1日をもって当社の連結子会社である日本シイエムケイマルチ株式会社、シイエムケイ蒲原電子株式会社、株式会社山梨三光及びシイエムケイメカニクス株式会社を吸収合併いたしました。効力発生日(平成26年10月1日)において、被合併会社4社から受け入れました純資産と、当社が所有する被合併会社4社の株式(抱合せ株式)の帳簿価額との差額を抱合せ株式消滅差益として特別利益に計上いたします。

①抱合せ株式消滅差益 : 25 億 41 百万円 ②発生日 : 平成 26 年 10 月 1 日

<連結>

被合併会社4社は、当社の連結子会社であったため、連結決算に与える影響はありません。

<個別>

抱合せ株式消滅差益として特別利益に25億41百万円計上いたします。

以上